

様々な医療施設様で

ASTY II (アスティII) が

活躍しています！

ASTY II

微生物検査システム

活躍シーン紹介

ASTY II を院内業務の中で上手に利用することで、たくさんのメリットをご享受いただけます。

Case. 1 A附属病院 様

臨床から突然の資料提出要求！ でも、わずかな時間で情報をまとめることができととても助かっています。

呼吸器科Dr. より「ここ1ヶ月間で、A病棟でMRSAを検出したことのある患者さんをピックアップして欲しい。あ、新規かどうかも一緒によろしく」。大抵のシステムでは検索機能を搭載しているのですが、こういったケースでもある程度時間があれば解決しますが、忙しい時に限って頻繁に要望されると、さすがに対処できません。ASTY II の「リスト検索」機能(条件を保存しておくことで、いつでも同じ条件での検索する機能)を紹介してもらい、「今月」「MRSA・新規」と登録しておき、病棟のみ都度指定するだけで、すぐに結果が得られるようになりました！

他にもまた一度作成して頂いた帳票を、Excelで少しデザイン変更すると、その通り出力されるので、月報など管理が楽に行えます。

通常業務も円滑に運べており、大変助かっています。

リスト条件による検索条件の選択

検索条件を指定しない
MRSA新規検出【今月】
MRSA新規検出【先月】
最終報告済み【本日の報告分】
血培陽性【今月の受付分】

好きな名称を付けれるから
わかり易い♪



Case. 2

公立B病院 様

CRE(カルバペナム耐性腸内細菌)の管理が必要！？
安心して下さい。マスタだけで管理できますよ！

厚生労働省の院内感染サーベイランス対象に、CREが追加された際、対象菌が膨大だったので、管理するのは難しいと思っていました。しかし、「ASTY IIでマスタ管理している」と聞いていたので、設定を行ってみたところ、思いのほか簡単に設定を行え、過去データも警告菌再チェックを行うことで、新規／継続判断含め、一括で情報展開を行うことが出来ました。

他にも警告菌検出時のメッセージ表示、患者指定での感受性時系列をワンクリックで表示出来るなど、操作に不慣れな技師が操作してもチェック漏れを防ぐ仕組みがあることに感心しています。



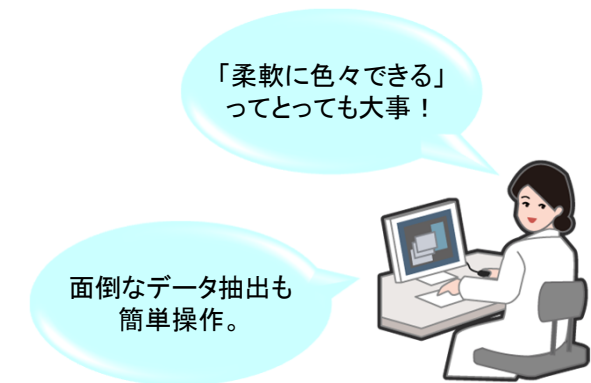
Case. 3

C循環器センター 様

抗酸菌運用がメインだが、十分に活用できる！

検体は抗酸菌メインで運用を行っています。QFTや分析器での感受性検査など、全てのメーカーが対応していないような機能も搭載してくれ、画面構成や作成帳票など、ワープロで作成しているようなものまでシステムが出してくれるようになり、大変助かっています。

検索機能も充実しており、TB-PCR陽性である検体の、全検査結果を一覧参照したり、MAC-PCR請求可能なここの1週間内に報告した検体のピックアップするなど、辛いところにも手が届くため、試してみるほどに面白いシステムだと思います。



◆他にもこんなお声をいただいています！

- ・ASTYからバージョンアップしたが、使い勝手はそのままに、出来ることが増えた！
- ・オネストさんは、感染管理システムもあるので、ICT連携も安心！

オネストメディカルシステムシリーズに関する情報

WEBサイト：<http://www.honest.co.jp>

メール：eigyo@honest.co.jp

株式会社オネスト

本社 / 〒170-6038 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 38階

